

(12)集合住宅における小規模多機能型居宅 介護の提供状況に関する調査研究事業 (結果概要)

(12) 集合住宅における小規模多機能型居宅介護の提供状況に関する調査研究事業

1. 調査の目的

- 小規模多機能型居宅介護は制度創設後8年が経過し、サービス付き高齢者向け住宅等の集合住宅との組み合わせ等、サービス提供形態が多様化してきている。本事業は平成27年度介護報酬改定に向けて、社会保障審議会給付費分科会等において、小規模多機能型居宅介護に関する検討を行うためのデータをを得ることを目的とする。

2. 調査方法

- 平成25年10月時点において、サービスを提供している小規模多機能型居宅介護事業所全数(被災地等を除く、4,177事業所)を対象とし、調査票を郵送配布・郵送回収した。調査票の構成としては、事業所票、利用者基本調査(全利用者分)、利用者詳細調査(抽出調査、1事業所あたり3人)とした。調査時点は、25年11月。
- 回収数は事業所票は2,217事業所(有効回収率51.4%)だった。利用者基本調査としては、39,136人分の有効データを収集した。

3. 調査結果概要

<事業所の基本情報、同一建物内にある住まいの状況>

- 事業所と同一建物内にサ高住等がある事業所は15.8%だった。
- 1事業所あたり職員数は平均11.2人、利用登録者数は平均18.3人だった。
- 過去1年以内に事業所内で看取りを実施した事業所は14.9%だった。

<サービス提供回数、提供パターン>

- 「サ高住等」の利用者に対しては、「通い+訪問」のサービス提供パターンが多く、「宿泊」はほとんど提供されない。
- 要介護度が軽い場合は、「通い」を含む利用パターンが多く、要介護度が重いと「宿泊」を含むパターンが多い。
- 1カ月間の宿泊回数は、「0回」が約半数を占め、他方、1カ月間宿泊を継続する利用者が11.2%いた。

<住居の形態別にみた利用者の特性やサービス提供状況>

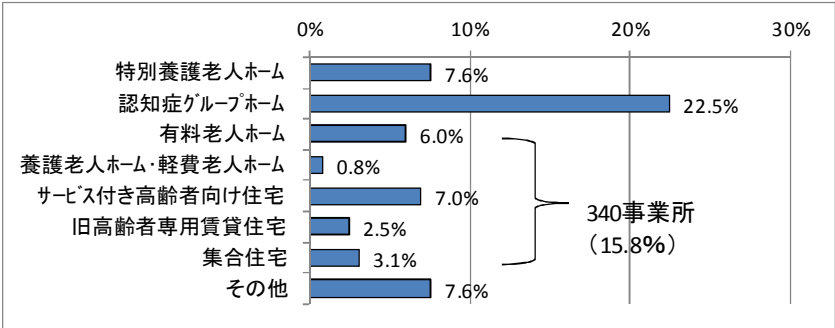
- サ高住等では「独居」の割合が高く、「介護できる人はいない」の割合が高かった。
- 利用開始前の居場所はサ高住等で「市外」が10.1%、利用開始までの紹介経路は「病院」がやや高かった。
- 他のサービス利用について、サ高住等で「往診・訪問診療」「居宅療養管理指導」が比較的高かった。
- 特養待機の利用者は、戸建ての方が、サ高住等に比べてやや高かった。
- サ高住等の利用者では送迎がない割合が高かった。
- 1週間の合計サービス提供時間は「戸建て」で3,674分(61.2時間)、「サ高住等」が2,330分(38.8時間)だった。

(12) 集合住宅における小規模多機能型居宅介護の提供状況に関する調査研究事業

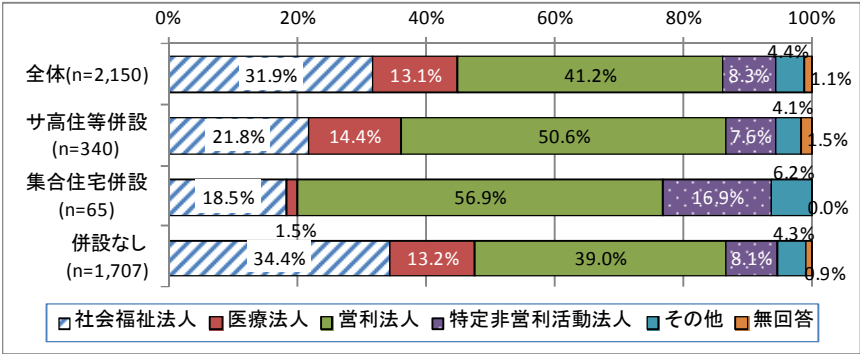
事業所の基本情報

- 事業所と同一建物内にサ高住等がある事業所は340事業所で、全体の15.8%だった。
- 経営主体は、全体で「営利法人」が41.2%、「社会福祉法人」が31.9%だった。
- 1事業所あたりの職員数は、平均11.2人(常勤換算数)だった。
- 利用者数について、1事業所あたりの平均登録者数は18.3人だった。

同一建物内にある施設・住まい等(複数回答)(n=2,150)



経営主体



職員配置: 1事業所あたり職種別平均職員数(常勤換算数)(単位: 人)

	回答件数	管理者	介護職員	(うち)介護福祉士	看護師	准看護師	介護支援専門員	その他の職員	合計
全体	1,654	0.6	8.5	2.7	0.5	0.5	0.7	0.4	11.2
サ高住等併設	262	0.6	9.0	2.4	0.4	0.6	0.7	0.4	11.8
集合住宅併設	57	0.7	8.7	2.1	0.4	0.4	0.7	0.5	11.4
併設なし	1,315	0.6	8.4	2.8	0.5	0.5	0.7	0.4	11.1

1事業所あたり登録者数(単位: 人)

	回答件数	平均	標準偏差
全体	2,119	18.3	5.2
サ高住等併設	333	19.1	4.8
集合住宅併設	65	17.9	5.8
併設なし	1,684	18.2	5.3

注)・「サ高住等」とは、「サービス付高齢者向け住宅」「有料老人ホーム」「養護老人ホーム・軽費老人ホーム」「旧高齢者専用賃貸住宅」を指す。
・「集合住宅」とは「マンション・アパート・団地等」を指す
・「併設」とは、同じ建物内にある場合をいう。経営主体が異なる場合も含む。

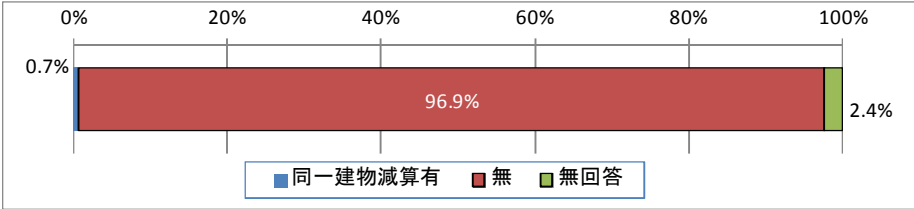
※ 経営主体の分布や職員数・登録者数は、他の全数調査(介護給付費実態調査や介護サービス施設・事業所調査)と概ね相違なく、偏りがなかったことを確認した。

(12) 集合住宅における小規模多機能型居宅介護の提供状況に関する調査研究事業

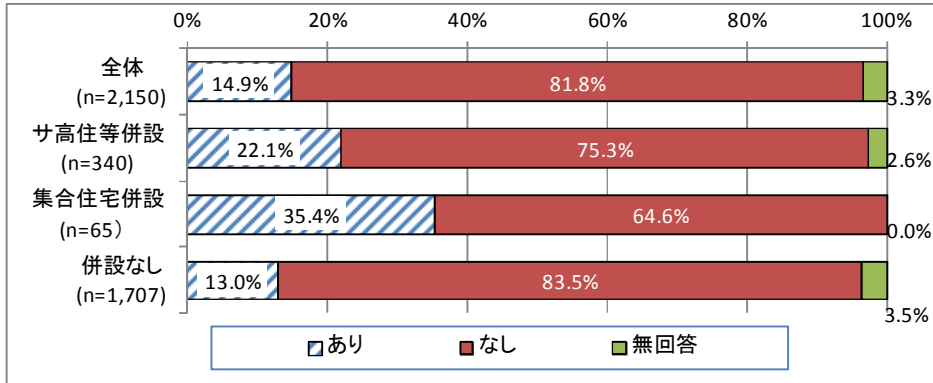
事業所の基本情報(続き)

- 同一建物減算のある事業所は、0.7%だった。
- 過去1年以内に、事業所内看取りを実施した事業所は、14.9%だった。サ高住等併設や集合住宅併設で、併設なしの事業所に比べ看取りを行った割合が高かった。
- 事業所と地域とのかかわりについて、サ高住等と併設している事業所と併設なしの事業所では、全体の傾向はほぼ同様であるが、「町内会、自治会の会員となり、会の役割を担っている」と「地域住民向けに介護相談や介護研修などを行っている」で、併設なしの事業所の方が実施割合がやや高かった。

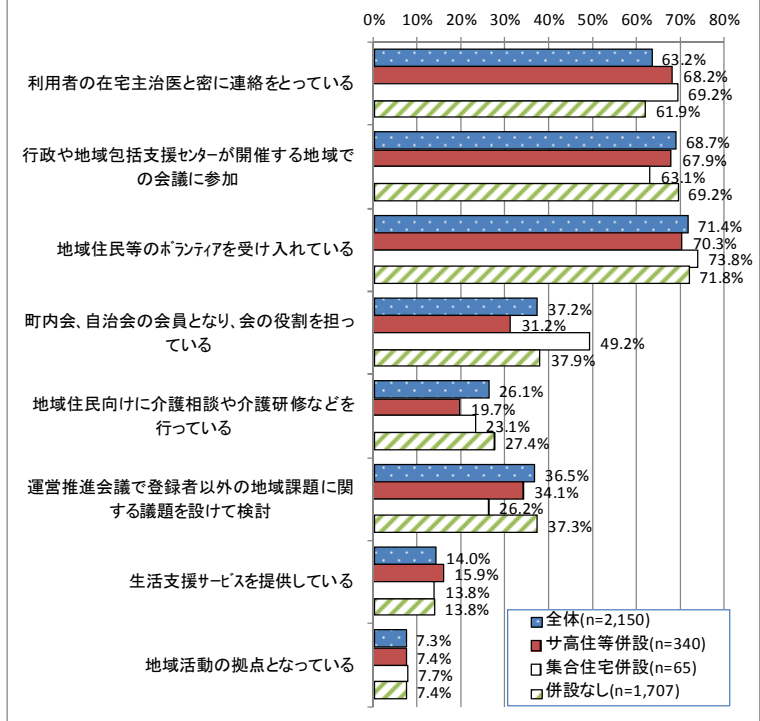
同一建物減算の有無(n=2,150)



事業所内の看取りの有無(過去1年以内)(n=2,150)



地域とのかかわりの状況 (複数回答)

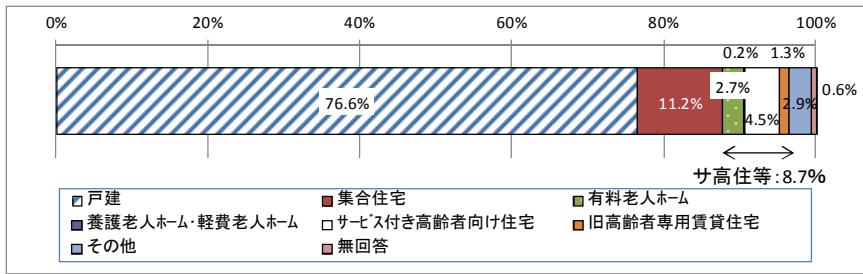


(12) 集合住宅における小規模多機能型居宅介護の提供状況に関する調査研究事業

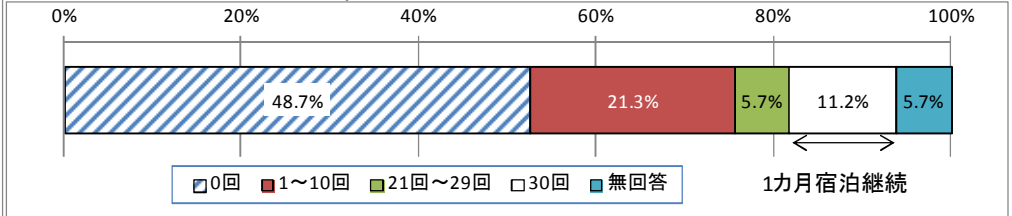
利用者の住居の形態およびサービス提供回数

- 利用者の住居の形態は、「戸建て」が76.6%、「サービス付き高齢者向け住宅」が4.5%だった。サ高住等が合わせて8.7%だった。
- 利用者1人あたり、平均的なサービス提供回数は、1カ月(平成25年11月)で、通いは平均は17.0回、訪問は10.5回、宿泊は7.3回だった。
- 住居が有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅、旧高齢者専用賃貸住宅では、「訪問」の提供回数が多く、「宿泊」の提供回数は少なかった。
- 調査月1カ月間(平成25年11月)のうち、宿泊回数が0回が約半数(48.7%)、30回宿泊(1カ月宿泊継続)の利用者が11.2%いた。

利用者の住居の形態(n=39,136)



1人あたりの宿泊回数(平成25年11月)の分布(n=36,105:30日間登録者)



住居の形態別 通い・訪問・宿泊回数(1人あたり平均)(単位:回)

	通い回数			訪問回数			宿泊回数		
	件数	平均	標準偏差	件数	平均	標準偏差	件数	平均	標準偏差
全体	35,737	17.0	9.5	33,912	10.5	26.7	34,047	7.3	10.8
戸建	27,456	17.2	9.1	25,874	6.3	14.4	26,335	7.7	10.8
集合住宅	4,007	16.5	9.5	3,845	12.9	23.7	3,742	5.5	9.9
有料老人ホーム	982	14.1	9.9	1,011	52.0	81.6	878	1.0	5.2
養護老人ホーム・軽費老人ホーム	82	13.0	8.8	79	13.4	14.1	73	4.6	9.7
サービス付き高齢者向け住宅	1,571	14.4	12.3	1,523	36.5	48.4	1,443	0.8	4.5
旧高齢者専用賃貸住宅	470	13.5	9.6	473	50.2	57.6	433	0.8	4.4
その他	1,016	22.2	10.6	976	10.3	29.5	1,013	17.7	14.2

注)住居形態のその他には、事業所に長期宿泊(滞在)しているため住居についての回答が困難だった者を含む。

(12) 集合住宅における小規模多機能型居宅介護の提供状況に関する調査研究事業

サービス提供のパターン

- 要介護度が軽い場合は、「通い」中心の利用パターンが多く、要介護度が重いと「宿泊」を含むパターンが多い。
- サ高住等併設事業所分についてみると、要介護度が重くなった場合、「通い+宿泊」の割合が高くなるものの、全体的に「通い+訪問」の割合が高い。

要介護度別 サービス提供パターン(平成25年11月)(単位:人)

	合計	通いのみ	通い+訪問	通い+宿泊	通い+訪問+宿泊	訪問のみ	宿泊のみ	訪問+宿泊	無回答
全体	39,136	8,111	8,978	11,904	3,964	1,521	482	41	4,135
	100.0%	20.7%	22.9%	30.4%	10.1%	3.9%	1.2%	0.1%	10.6%
要支援1	2,357	761	694	259	106	247	12	0	278
	100.0%	32.3%	29.4%	11.0%	4.5%	10.5%	0.5%	0.0%	11.8%
要支援2	3,261	862	1,031	481	181	243	14	5	444
	100.0%	26.4%	31.6%	14.8%	5.6%	7.5%	0.4%	0.2%	13.6%
要介護1	9,117	2,295	2,626	1,956	728	502	74	6	930
	100.0%	25.2%	28.8%	21.5%	8.0%	5.5%	0.8%	0.1%	10.2%
要介護2	9,098	1,984	2,079	2,778	985	231	105	7	929
	100.0%	21.8%	22.9%	30.5%	10.8%	2.5%	1.2%	0.1%	10.2%
要介護3	7,372	1,258	1,286	2,966	834	120	115	9	784
	100.0%	17.1%	17.4%	40.2%	11.3%	1.6%	1.6%	0.1%	10.6%
要介護4	4,890	630	798	2,140	683	77	89	8	465
	100.0%	12.9%	16.3%	43.8%	14.0%	1.6%	1.8%	0.2%	9.5%
要介護5	2,952	303	453	1,294	442	95	70	6	289
	100.0%	10.3%	15.3%	43.8%	15.0%	3.2%	2.4%	0.2%	9.8%
申請中	69	15	10	23	4	6	2	0	9
	100.0%	21.7%	14.5%	33.3%	5.8%	8.7%	2.9%	0.0%	13.0%

(サ高住等併設事業所分)要介護度別 サービス提供パターン
(平成25年11月)(単位:人)

	合計	通いのみ	通い+訪問	通い+宿泊	通い+訪問+宿泊	訪問のみ	宿泊のみ	訪問+宿泊	無回答
全体	6,467	981	2,332	1,553	403	338	49	8	803
	100.0%	15.2%	36.1%	24.0%	6.2%	5.2%	0.8%	0.1%	12.4%
要支援1	406	97	169	45	13	34	2	0	46
	100.0%	23.9%	41.6%	11.1%	3.2%	8.4%	0.5%	0.0%	11.3%
要支援2	579	104	237	61	23	49	1	0	104
	100.0%	18.0%	40.9%	10.5%	4.0%	8.5%	0.2%	0.0%	18.0%
要介護1	1,555	293	622	282	91	95	6	3	163
	100.0%	18.8%	40.0%	18.1%	5.9%	6.1%	0.4%	0.2%	10.5%
要介護2	1,363	217	495	337	94	53	13	1	153
	100.0%	15.9%	36.3%	24.7%	6.9%	3.9%	1.0%	0.1%	11.2%
要介護3	1,125	153	347	364	76	29	8	0	148
	100.0%	13.6%	30.8%	32.4%	6.8%	2.6%	0.7%	0.0%	13.2%
要介護4	885	80	303	290	61	25	11	2	113
	100.0%	9.0%	34.2%	32.8%	6.9%	2.8%	1.2%	0.2%	12.8%
要介護5	541	36	155	169	45	51	8	2	75
	100.0%	6.7%	28.7%	31.2%	8.3%	9.4%	1.5%	0.4%	13.9%
申請中	11	0	4	5	0	2	0	0	0
	100.0%	0.0%	36.4%	45.5%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%

(12) 集合住宅における小規模多機能型居宅介護の提供状況に関する調査研究事業

サービス提供のパターン

- 住居が「戸建て」の場合は「宿泊」を含む利用パターンが比較的多いが、「有料老人ホーム」「養護老人ホーム・軽費老人ホーム」「サービス付き高齢者向け住宅」「旧高齢者専用賃貸住宅」(サ高住等)では「通い+訪問」のパターンが多く、「宿泊」はほとんどない。
- サ高住等併設事業所分についてみても、傾向としては全体とほぼ同様である。

住居形態別 サービス提供パターン(平成25年11月)(単位:人)

(サ高住等併設事業所分)住居形態別 サービス提供パターン(平成25年11月)(単位:人)

	合計	通いのみ	通い+訪問	通い+宿泊	通い+訪問+宿泊	訪問のみ	宿泊のみ	訪問+宿泊	無回答
全体	39,136	8,111	8,978	11,904	3,964	1,521	482	41	4,135
	100.0%	20.7%	22.9%	30.4%	10.1%	3.9%	1.2%	0.1%	10.6%
戸建	29,962	6,933	5,102	10,240	3,354	955	384	34	2,960
	100.0%	23.1%	17.0%	34.2%	11.2%	3.2%	1.3%	0.1%	9.9%
集合住宅	4,382	821	1,351	1,012	424	240	38	5	491
	100.0%	18.7%	30.8%	23.1%	9.7%	5.5%	0.9%	0.1%	11.2%
有料老人ホーム	1,075	95	649	26	16	119	0	0	170
	100.0%	8.8%	60.4%	2.4%	1.5%	11.1%	0.0%	0.0%	15.8%
養護老人ホーム・軽費老人ホーム	89	7	42	6	11	10	1	0	12
	100.0%	7.9%	47.2%	6.7%	12.4%	11.2%	1.1%	0.0%	13.5%
サービス付き高齢者向け住宅	1,749	115	1,208	18	30	131	4	1	242
	100.0%	6.6%	69.1%	1.0%	1.7%	7.5%	0.2%	0.1%	13.8%
旧高齢者専用賃貸住宅	511	18	372	9	15	47	1	0	49
	100.0%	3.5%	72.8%	1.8%	2.9%	9.2%	0.2%	0.0%	9.6%
その他	1,131	101	238	549	88	17	43	1	94
	100.0%	8.9%	21.0%	48.5%	7.8%	1.5%	3.8%	0.1%	8.3%

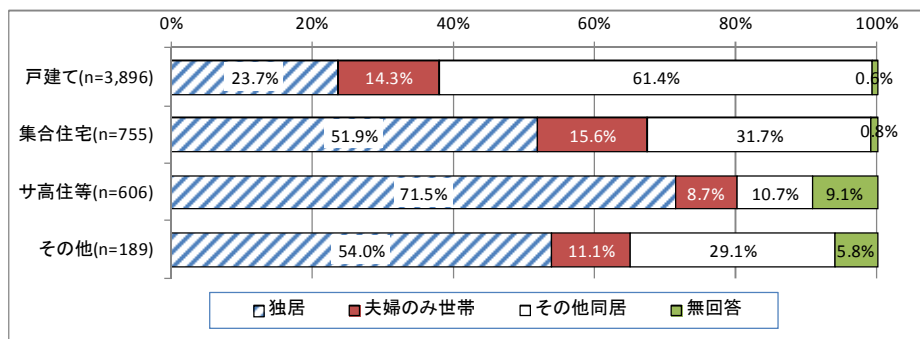
	合計	通いのみ	通い+訪問	通い+宿泊	通い+訪問+宿泊	訪問のみ	宿泊のみ	訪問+宿泊	無回答
全体	6,467	981	2,332	1,553	403	338	49	8	803
	100.0%	15.2%	36.1%	24.0%	6.2%	5.2%	0.8%	0.1%	12.4%
戸建	3,190	737	467	1,241	286	92	37	7	323
	100.0%	23.1%	14.6%	38.9%	9.0%	2.9%	1.2%	0.2%	10.1%
集合住宅	513	108	119	155	34	30	5	0	62
	100.0%	21.1%	23.2%	30.2%	6.6%	5.8%	1.0%	0.0%	12.1%
有料老人ホーム	816	46	509	13	12	99	0	0	137
	100.0%	5.6%	62.4%	1.6%	1.5%	12.1%	0.0%	0.0%	16.8%
養護老人ホーム・軽費老人ホーム	23	3	13	3	2	1	0	0	1
	100.0%	13.0%	56.5%	13.0%	8.7%	4.3%	0.0%	0.0%	4.3%
サービス付き高齢者向け住宅	1,357	71	953	13	26	87	4	1	202
	100.0%	5.2%	70.2%	1.0%	1.9%	6.4%	0.3%	0.1%	14.9%
旧高齢者専用賃貸住宅	339	9	257	3	5	26	0	0	39
	100.0%	2.7%	75.8%	0.9%	1.5%	7.7%	0.0%	0.0%	11.5%
その他	198	7	12	121	38	3	3	0	14
	100.0%	3.5%	6.1%	61.1%	19.2%	1.5%	1.5%	0.0%	7.1%

(12) 集合住宅における小規模多機能型居宅介護の提供状況に関する調査研究事業

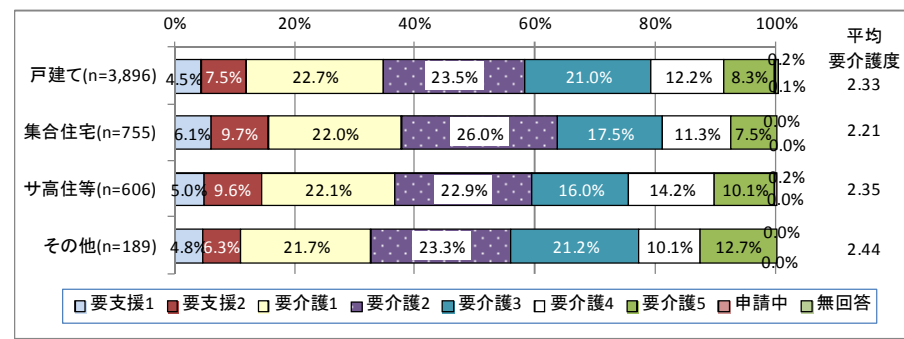
住居の形態別 利用者の特性

- サ高住等の利用者では、「独居」の割合が高かった。
- サ高住等の利用者では、「介護できる人はいない」割合が高かった。
- 住居の形態別要介護度分布をみると、サ高住等で要介護4+5がやや多いものの特に差は認められなかった。

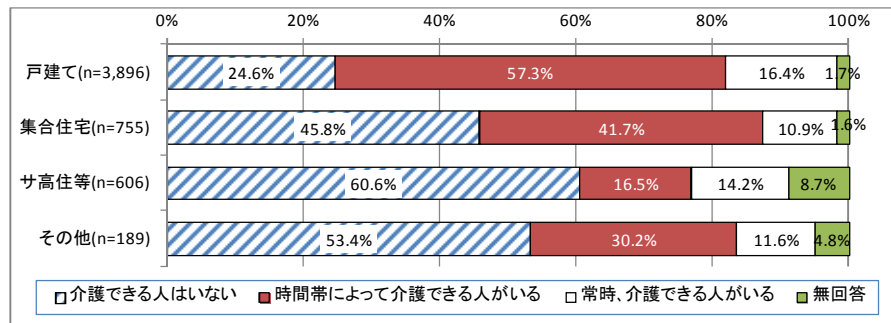
利用者の世帯構成



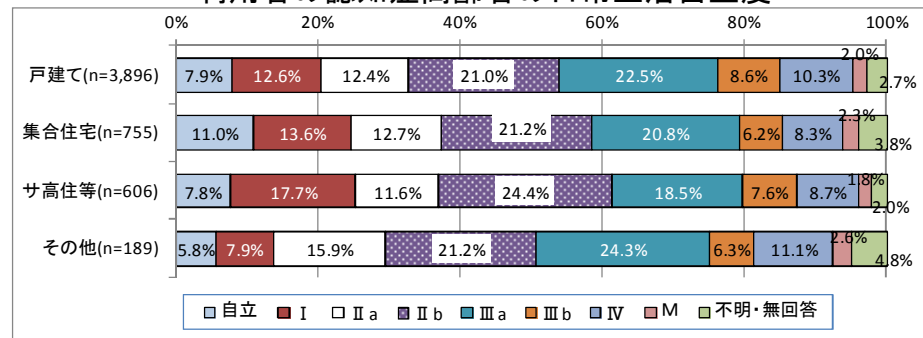
利用者の要介護度



介護者



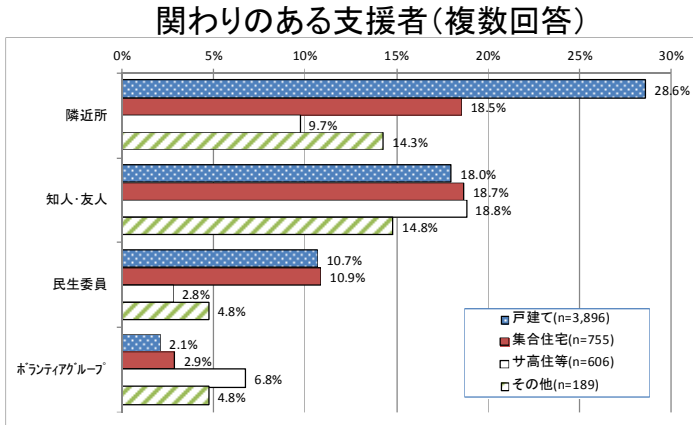
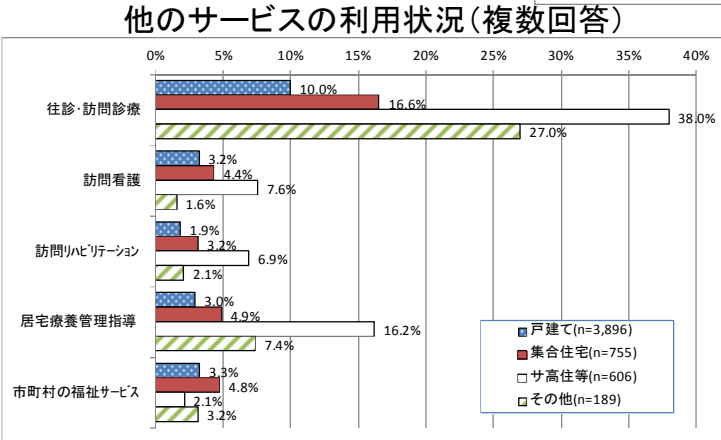
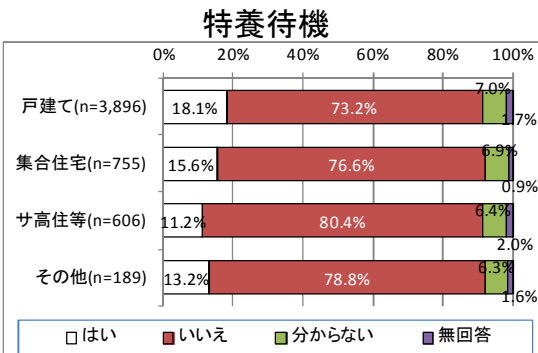
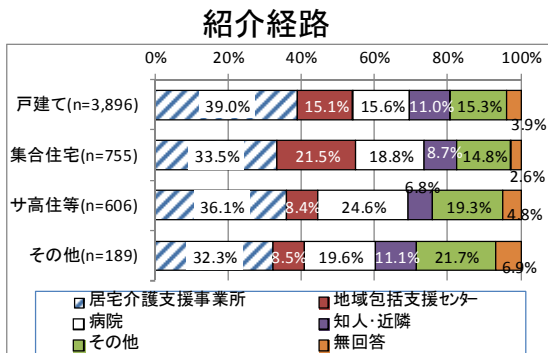
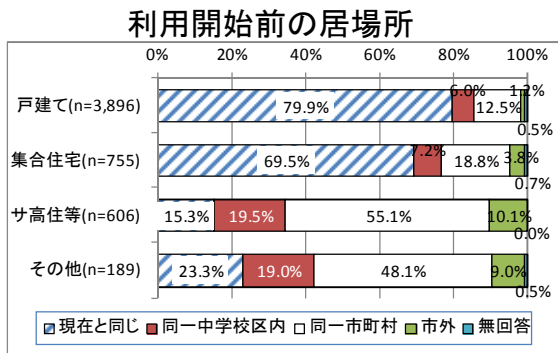
利用者の認知症高齢者の日常生活自立度



注)サ高住等には、サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、養護老人ホーム・軽費老人ホーム、旧高齢者専用賃貸住宅を含む。

(12) 集合住宅における小規模多機能型居宅介護の提供状況に関する調査研究事業

- ## 住居の形態別 利用者の状況
- 利用開始前の居場所としてサ高住等の利用者では「市外」が10.1%を占めた。
 - 利用開始までの紹介経路は、サ高住等の利用者では「病院」が24.6%と比較的高かった。
 - 特養待機の利用者は、戸建てでは18.1%で、サ高住等(11.2%)に比べて高かった。
 - 他のサービス利用について、サ高住等の利用者では、「往診・訪問診療」「居宅療養管理指導」が比較的高かった。
 - 関わりのある支援者について、戸建ての利用者では「隣近所」が28.6%でサ高住等の9.7%に比べて高く、また、戸建て・集合住宅では「民生委員」が約1割あった。



(12) 集合住宅における小規模多機能型居宅介護の提供状況に関する調査研究事業

住居の形態別 サービス提供の状況

- 送迎実施は、戸建ての利用者では84.3%にのぼったが、サ高住等では43.6%だった。
- 調査期間の1週間における「通い」の有無は、いずれも80%以上の実施率だった。
- 同じく1週間における「訪問」は、戸建ての利用者では35.2%の実施率だが、サ高住等では85.3%と大きく差がみられた。
- 一方、宿泊については、サ高住等の利用者は5.1%と実施率が低かった。
- 調査期間の1週間におけるサービスの提供時間は、戸建ての利用者で3,674分(61.2時間)、サ高住等で2,330分(38.8時間)だった。

